

キャッシュフローコーチ基本 メニュー	
1	ブロックパズルでお金の流れを見える化 3期分の決算書で現状確認、理想の収益構造を描く
2	キャッシュフロー表の作成と月次チェック 毎月の損益と資金繰りの流れを把握
3	キャッシュフロー計画表作成支援
4	面談時の議事録作成
5	随時相談（メール、電話）

会社の過去の数字の記帳と税務申告が税理士先生の仕事ですが、過去と現在の数字を参考にしながら、社長が適切な経営判断をするための材料を提供し、一緒に打ち手を考えるのがキャッシュフローコーチの仕事です。

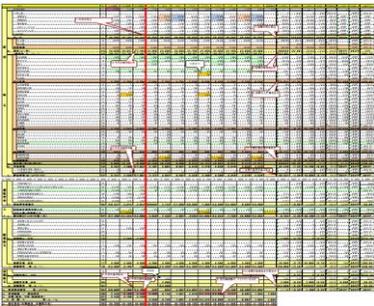
売上 100	変動費 20		
	粗利 80	固定費 70	人件費 40
			その他 30
	利益 10		

ブロックパズルで会社のお金の流れを見える化

損益計算書を文字や数字の羅列ではなく、ビジュアルで俯瞰することで、会計や税務の専門的な知識が無くても、会社の収益構造の全体像をおおまかに理解して頂けます。（数字への苦手意識を払拭）

- ・3期分並べて見ると、業績の推移を把握→改善のアクションプラン作成
- ・売上高、粗利率、経費が〇% 変動した場合の損益をシミュレーションをする
- ・事業別、部門別、商品別、店舗別など様々な切り口で社内の収益構造を把握する

など、様々な活用方法があります。



キャッシュフロー表の作成と月次チェック

A3用紙1枚に、損益計算書とキャッシュフロー計算書を収めたシートを使って年間の計画を策定します。ブロックパズルで全体像を把握した後なので、スムーズに取り組めます。計画を作る過程で会社がお金を使っているかがハッキリ見えるため、無駄な経費の削減にも繋がります。計画の後に月次の実績を上書きチェックすることで、異変に素早く対応することが出来ます。また、月単位の資金繰り表としても活用できますので、漠然とした資金繰りの不安から解放されて本業に集中できます。

202〇年〇月〇日

議題

対応が必要なこと

次回やること

宿題

面談時の議事録作成

毎回の面談の後に議事録を作成してお送りします。

記録に残して振り返ることで、自身に健全なプレッシャーを掛けながら
言いつ放しにせず、確実にやり切る状態を作ります。

経営のメモとして、成長の記録としても使うことができます。



随時相談（メール、電話）

面談の時以外でも、何かありましたらお気軽にご相談ください。